

6. 入学者に関する受入方針、教育課程の編成方針、卒業認定・学位授与に関する方針

(1) アドミッションポリシー（入学者受入方針）

「愛と真実の教育・情操豊かな女子教育」という建学の精神、「教養豊かな自立的人間の育成」という教育理念に基づき、本学では以下のような学生を求めている。

美容生活文化学科

- ・何事にも挑戦する気持を持ち、夢を語れる人。
- ・将来の目標を見つけ、社会に貢献したいと考えている人。
- ・生活における美に関心を抱いている人。

美容文化コース

美容に強い関心を持ち、忍耐強く情熱を持って取り組める人。

ビューティーメイクコース

メイク・ネイル・ブライダルに強い関心を持ち、情熱を持って取り組める人。

舞台芸術コース

身体を使って表現することが好きで、ファッションに強い関心を持ち、自己表現力のある人。

保育士コース

相手の気持ちを思いやることができ、子どもの成長や発達を支えたいと願う人。

教養コース

幅広い教養を身につけ、国際人として広く社会に貢献したいと考えている人。

(2) カリキュラムポリシー

美容生活文化学科

教養科目群は、社会に出てから求められる幅広い教養を身につけられるように、様々な分野の科目を系統的に配置している。また、「情報」等に関する資格を取得できるように、科目を系統的に配置している。専門科目群に関しては、コースのめざす進路に関する専門分野を深く学ぶことができるように、コースごとの独自カリキュラムを編成している。また必修科目として少人数制の「ゼミナールⅠ・Ⅱ」を設けるなど、地域の社会貢献を対象とした問題解決型の学習（アクティブラーニング）を積極的に導入している。

美容文化コース

美容師国家試験の合格に向けて、複数の教員で各教科を担当し、学習・技術両面において少人数制のきめ細かい指導を徹底している。教員同士が緊密に連携をとり、学生の実情を共有して把握している。技術及び学力のレベルチェックのためのテストを定期に実施し、特に国家試験直前には模擬試験を集中して行っている。

ビューティーメイクコース

ビューティースペシャリストに求められる知識と技術を習得し、応用力・即戦力を養えるよう、現場で活躍する講師によるフレキシブルな教育を実施している。常に目標（資格取得）を持ち、それを達成していくことにより、スキルアップを図ると同時に、精神力を養う。一人ひとりの特性を捉え、すべての学生が基準値に達するよう、教育内容を再構築している。

舞台芸術コース

ダンス・ポピュラーミュージック・声優・演技・音響・照明などを、最新の設備の整った環境のもと、現場で活躍するプロフェッショナルの講師が本格的なレッスンを展開している。学んだ成果を発表する場として、各種学内イベントを提供することはもちろん、個人の志す分野の各種のオーディションや、舞台、音楽活動を支援する。

保育士コース

2年間の目標を「子ども・保育との出会い」「子ども・保育を知る」「子ども、保育、地域にかかわる」「保育者のたまごになる」と定め、体系的なカリキュラムを構築している。多様なニーズを抱える子育ての現場へ対応できる人材を育成すべく、実習の事前・事後指導に力を入れ、コース担当教員が全員で指導にあたっている。実習および出前保育等の経験を多く持つことで目標達成をめざしている。

教養コース

心理学・外国語・情報など、多様なジャンルの教養を得るとともに、就職にも役立つ各種の資格の取得をめざし、国際的な活躍のできる女性を育成していく。とりわけキャリアデザイン演習などでは、少人数のよさを生かし、一人ひとりの個性を引き延ばす教育を展開し、学生生活と将来の自分について考えを深める機会としている。

(3) ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

所定の期間、本学に在学し、その定める教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得するのが学位授与の要件である。本学では、各コースの一般教養教育、専門教育の各領域において、求められる知識・技術・技能を習得し、所定の単位を取得した学生に卒業を認定し、学位を授与している。

美容文化コース

美容に関する知識と技術を習得し、美容師国家試験受験資格を取得した者。センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となること。

ビューティーメイクコース

メイク・ネイル等の専門的な技術と知識を取得した者。センス・マナーにおいても、美容各分野の幅広いフィールドで活躍できるオールマイティーな人材となること。

舞台芸術コース

舞台芸術に関する専門的な知識と技術を学び、自己表現力を高めることのできた者。表現者として、「自分」という個性をセルフプロデュースできるようになること。

保育士コース

子どもの発達や福祉に関する知識を深め、保育士資格を取得した者。子ども一人ひとりの育ちを大切にする、芸術的・美的センス・倫理観を備えた保育士・社会人となること。

教養コース

短大生としてふさわしいバランスのとれた知識と教養を身につけた者。国際社会に貢献できるコミュニケーション能力など、総合的な人間力を養うこと。